

平成29年度第4回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要

| | |
|------------|---|
| 開催日時 | 平成 29 年 8 月 21 日 16 時 ~ 16 時 30 分 |
| 開催場所 | 小山田記念温泉病院 第3会議室 |
| 出席委員 | 毛受、北村、原、山中、伊藤、浅野、清水、坂(敬略称、順不同) |
| 計画の審議 | |
| 申請者 | 中村 毅 |
| 研究名 | 入浴の食欲、深部体温、食欲調整ホルモンへの影響についての検討 |
| 研究内容 要旨 | 高齢化、認知症患者の増加とともにフレイル、サルコペニアといった栄養不良に関する問題がある一方、過食による生活習慣病の増加が問題となっている。日常生活習慣である入浴による深部体温変動が食欲、食欲関連ホルモンへ与える影響を検討する。 |
| 審議結果 | 承認 2017-012 |
| 参考 | 研究計画の軽微な変更であり、書類審議により承認とした。 本研究は和歌山県立医科大学との共同研究であり、人体から採取した試料(血清)を匿名化した上で和歌山県立医科大学に提供する。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 水谷 裕哉 |
| 研究名 | 地域在住の高齢がん患者の同居家族有無が社会的孤立と虚弱状態とQOLに及ぼす影響 |
| 研究内容 要旨 | 本研究は、地域在住の高齢がん患者、がんサバイバーの社会的孤立の有無について調査を行うことを目的とした。また、同居家族の有無が、社会的孤立や虚弱状態、QOLにどのような影響を及ぼすかを明らかにすることを目的とした。 |
| 審議結果 | 承認 2017-013 |
| 参考 | 侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものであり、「無記名であり、心理的苦痛を伴わないアンケート調査」であり、「共同研究機関において倫理審査委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見を得ている場合」と考えられたので、書類審議の結果、承認とした。 本研究は三重大学大学院医学系研究科との共同研究であり、試料・情報(人体から採取されたものは含まない)を、匿名化した上で三重大学大学院医学系研究科に提供する。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 加藤 康太 |
| 研究名 | 要支援・要介護高齢者におけるサルコペニアと転倒の関係について |
| 研究内容 要旨 | サルコペニアの評価として、握力、10m通常歩行速度、骨格筋量(体組成計を使用)を測定し、それと同時に過去の転倒歴について聞き取り調査を行う。また、ビデオカメラにて歩行動画を撮影し、3次元動作解析装置にて歩行変動を解析する。そして、要支援・要介護高齢者において、サルコペニアの有無による転倒および歩行変動の特性について明らかにする。 |
| 審議結果 | 承認 2017-014 |
| 意見 | 特になし。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 福井 麻貴 |
| 研究名 | 香りによる注意課題遂行能力の違いの検討 |
| 研究内容 要旨 | アロマセラピーでは、認知症の周辺症状軽減や睡眠の質が高まるなどの効果についての先行研究がある。アロマオイルには集中力が高まるとされるオイルもあるが、効果が検証された研究は少ないのが現状である。集中力が高まるとされるアロマオイルの効果を検証することで、今後リハビリテーションを展開する上で、参考になるか検討する。 |
| 審議結果 | 承認 2017-015 |
| 意見 | 特になし。 |